

「これからの地球のために いま私たちができること」

～かけがえのない地球を次の世代へ～



今年7月、北の大地で重要な国際会議が開催されます。「北海道洞爺湖サミット」、その最大のテーマは気候変動問題です。温暖化の危機が切迫しているといわれている今、地球温暖化や二酸化炭素の削減など、皆さんも身近なところから考えてみませんか？

地球温暖化とは？



18世紀に始まった産業革命以降の化石燃料（石炭・石油など）の使用量の増大により、二酸化炭素を始めとする温室効果ガスの大気中の濃度が増加を続け、地球の平均気温が上昇している現象を「地球温暖化」といいます。

現在の地球の平均気温は、100年ほど前に比べ0.75℃上昇し、とりわけ、ここ10年の気温の上昇が大きく、過去に例のない上昇を示していることが明らかになっています。

温室効果ガスとは？



大気中の二酸化炭素やメタンなどのガスは太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがあります。これらのガスを「温室効果ガス」といいます。

温室効果ガスは大気中に微量に存在しており、地球の平均気温は約15℃に保たれています。仮にこのガスがないと気温はマイナス18℃になってしまいます。また、人為的な温室効果ガスが温暖化の原因である確率は9割を超えるとされています。

地球温暖化の 与える影響



水資源への影響

降水状況が大きく変わるおそれがあり、水害や渇水の危険性が増加します。

自然生態系への影響

温暖化による気候変動は急激に起こることから、それに対応できない植物の減少により植生が大きく変化すると考えられます。また、植生の変化に伴ってそれを餌にする動物にも大きな影響が現れ、最悪の場合は種の絶滅をもたらすおそれがあります。

農業への影響

日本は世界有数の食料輸入国ですが、気候変動によって地球レベルでの食糧危機が家庭の食卓を直撃するおそれがあります。

海水面上昇

海水が膨張したり、氷河が溶けたりして海水面が上昇し、沿岸の都市部で高潮による被害が発生するおそれがあります。

健康への影響

熱射病が増加し、体力の弱っている病人やお年寄り、子供の健康に悪影響をもたらすおそれがあります。

町の取組み その1 緑の植樹事業の実施



5月31日に、町道16号スキーマ場跡地を活用して「緑の植樹事業」を行いました。この事業は、「全町を木々でつなぐ緑の回廊づくり」と「二酸化炭素の吸収源となる森づくり」をテーマとしています。今回、さくらの苗木約150本を植樹しました。この事業は今後3ヶ年間計画されており、カーボン・オフセットを推進するために、観光客や旅行者が北海道内を周遊する中で植樹を行う「シーニックの森づくり」との連携も計画されています。

町の取組み その2 ごみの再資源化の推進



町では、平成12年4月から資源ごみの収集を開始し、平成17年4月より一般ごみ収集を有料化しました。ごみの分別や有料化の推進により、有料化前と後で、一般ごみの処理量が年間約40t削減されました。これは、町民一人当たりすると約80kgのごみの減量となり、焼却による二酸化炭素排出量の抑制や埋立施設の延命につながっています。

町の取組み その3 環境基本条例の制定



平成17年4月に環境基本条例を制定し、協働して人と自然が共生できる環境づくりと循環型社会の構築に努めることを定めました。環境への関心が高まり、年齢や職業、地域等をこえた学習や協働による実践活動は、自然環境に優しいまちづくりと環境保全につながります。

町の取組み その4 清里町地球温暖化防止計画の策定



また、私たち一人ひとりが省エネやごみの減量をはじめ、できることを少しずつ行うことで、「住む人が健康で安心して暮らすことができるまちづくり」が推進されます。

町では、温室効果ガスの「二酸化炭素」の排出削減について実行計画を作成しています。平成15年度と比較して、二酸化炭素を平成18年度から平成22年度の5年間で6%削減することを目標としています。町の施設や公用車など様々なエネルギー（ガソリン・灯油・重油・軽油・ガス・電気）の総使用量を

把握・分析し、削減を図ってまいります。

北海道の取組み 北海道環境宣言



北海道では洞爺湖サミットが開催される今年を環境元年と位置づけ、「北海道環境宣言」を発表しています。これは、かけがえのない北海道の環境をしっかりと守り、将来の世代に引き継いでいくために、家庭や職場、地域で環境宣言に基づく「3つの心」「8つの行動」に取り組みでいこうとするものです。

3つの心

- 地球を守る心
- もつたない心
- 自然と共生する心

環境に優しい「8つの行動」

- 一人一日10%二酸化炭素を減らそう。
- オフィスや事業所の省エネルギーや省資源をすすめよう。
- 一人30本植樹運動を実践しよう。
- 一人一日10% (80g)のごみを減らそう。
- 資源を地域内で循環する

地産地消をすすめよう。清掃活動に参加しよう。自然のすばらしさにふれ身近な川や湖などを守る環境保全活動に参加しよう。

環境と調和した農林水産業や観光業をすすめよう。
*詳しくは、北海道のホームページでご覧いただけます。
*ホームページ

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ksst/top/page/dec/arat/0n.html

みんなの手で広げよう 「エコ活動」の輪

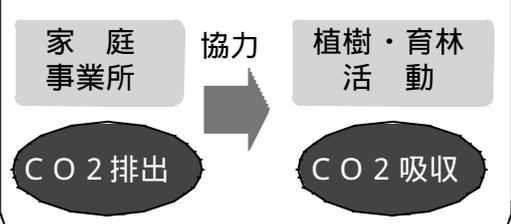


町や北海道の取り組みをご紹介しましたが、温暖化防止は、限界があります。自家用車のアイドリング防止

や車の使用そのものを少なくしたり、テレビや部屋の照明などのこまめな電源管理、ごみの減量化など、各家庭や職場、地域での日常生活の中でできる何気ない行動が、地球規模での温暖化防止につながっていきます。地球温暖化を身近な問題ととらえていただき、皆さん一人ひとりが、小さなことから地球環境の保全に努めましょう。

環境豆知識 「カーボンオフセット」って何？

私たちが生活する上で、どうしても排出してしまうのが温室効果ガス（二酸化炭素など）。「カーボンオフセット」のうち、「カーボン」は炭素、「オフセット」は埋め合わせることを意味する言葉。つまり、自分が排出した二酸化炭素を相殺するために、二酸化炭素吸収効果のある植林や環境にやさしい自然エネルギーを利用する仕組みのことです。



暮らしの エコチェック

地球温暖化を防ぐために、今すぐできることは、毎日の生活の中であるべく二酸化炭素をださないようにすることです。下の表の中でできることから少しずつ始めてみませんか？

CO2削減の行動メニュー	CO2削減量	節約額
<input type="checkbox"/> 暖房の設定温度を1度低くする	521g	21円
<input type="checkbox"/> 使っていない照明（蛍光灯）を1時間消す	19g	1円
<input type="checkbox"/> 1時間テレビの電源を切る	96g	5円
<input type="checkbox"/> シャワーの使用時間を1分間短くする	77g	9円
<input type="checkbox"/> 車のアイドリングを1分間短くする	32g	2円
ゴミ削減・リサイクルの行動メニュー	ゴミの削減量	
<input type="checkbox"/> 買い物の際にはマイバックを持参してレジ袋を削減する（1枚）	6g	
<input type="checkbox"/> 家庭の生ゴミを排出する際は、よく水切りをする	12g	
<input type="checkbox"/> シャンプーが無くなったら、詰め替え用を購入し容器に詰め替える	65g	